

平成28年度事業計画

公益財団法人 大阪国際交流センター

公益財団法人大阪国際交流センターは、昭和62年（1987）年の開設以来、大阪市における地域国際化協会として大阪国際交流センターの施設を拠点とし、大阪を中心とした関西一円において、市民レベルの相互理解の増進と友好親善の促進を図る様々な事業を実施してまいりました。

当財団は平成24年4月より、公益財団法人として、新たな第一歩を踏み出しました。しかしながら、設立母体の大阪市において、大阪の再生にむけての新たな大都市制度の実現と活力ある大阪をめざす取り組みや、厳しい財政状況を受けた行財政改革を強力に進める中、外郭団体について抜本的な見直しが図られてまいりました。平成26年度以降、当財団の財政基盤であった大阪国際交流センター施設運営が民営化される中、公益の国際交流事業を推進すると共に、経営の自立化が喫緊の課題となっています。このような状況を踏まえて、平成26年12月に当財団の運営にかかる事業の方向性、経営の自立化に向けた経営改善の取り組みなどを明らかにした5か年経営計画を策定しました。

当財団は本来業務である公益国際交流事業の拡充に努める一方で自立的・継続的運営確保に向け、外部の関係団体や国際協力・交流団体との連携などの強みを活かした、新規の事業受託や自主事業実施に懸命に取り組んでまいりましたが、財政的には改善されていないのが実情であります。一方で、こうした取り組みの結果、関連する交付金事業の拡充を図ることができ、又、グローバル人材の育成を目指す高校や大学からの事業委託の打診がある等新しい芽も出つつあります。

こうした中、平成28年度は、交付金事業が拡充されたことから財団本来の社会的使命を果たす交付金事業にしっかり取り組み、財団が市民や社会にとってなくてはならない存在であるプレゼンスを高めるとともに、自立化に向けてこれまで取り組んできた新規事業の蓄積されたノウハウを生かし、社会的ニーズにこたえる事業開発に更に努めるとともに確実な事業受託を目指して、外部人材の活用を図りつつ効果のあがる取り組みを実施してまいります。